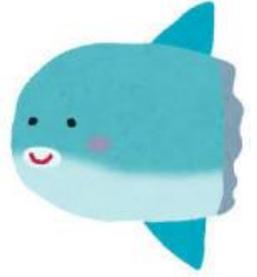


まんぼう通信



平成28年8月1日 No.22

みなさんこんにちは！梅雨から本格的な夏に入り、暑い日があれば朝夕などは少し肌寒い時もありますね。こまめな水分・塩分補給と服・布団の調整を気かけ、体調管理に努めましょう。さて、今月と来月のまんぼう通信では「介助の方法」について紹介します。

◀ 原則 ▶ ・介助者が腰痛などで身体を壊さないよう、安全で楽な方法で行う。
介助一般 ・本人の力（機能）を引き出す。

介助の方法 “立ち上がり”

【ポイント】 A. 声かけ

「どう動くか」を伝えることで、機能を引き出せ、安心して動くことができます。

B. 近付く

介助者の腰などの負担が減り、動くタイミングが合いやすくなります。

C. 重心移動

重心の移動を意識することで、動きがスムーズになります。

①立つ準備



②重心を足へ



③立位へ



～新入職員（事務員）紹介～

氏名：小野寺香奈 出身：気仙沼市
趣味：読書、音楽鑑賞、ドライブ
抱負：自分の一つ一つの行動が、どこかで誰かの力になるよう日々意識して頑張ります。



勤務：10～14時。お気軽にお問い合わせを。

一般財団法人訪問リハビリステーション振興財団
気仙沼訪問
リハビリステーション
TEL：0226-25-8323
FAX：0226-25-8324